

# 〈東北・新潟の活性化応援プログラム〉 2020年 助成団体活動成果レポート

特別助成団体

## 塩沢歌舞伎保存会

新潟県南魚沼市

プロジェクト名

### 伝統文化をより身近なものに ～自前・自立で誰もが演じられる雪国歌舞伎へ～



#### ■地域の課題

250年の伝統を持つ当地の地芝居も、時代の変化で将来への継承活動が危うい状況にありました。中でも指導・衣装・髷・大小道具・義太夫・三味線など全てを県外の専門家に委託せざるを得ない当地の現状は、財政的に限界を迎えていました。

#### ■当団体の紹介

江戸時代から受け継がれてきた男性中心の雪国の歌舞伎を女性や子供も気軽に参加できる形に変化させ、楽しく誇れる伝統文化として蘇らせるため、専門家による技術習得講習会を実施するほか、ホームページ立ち上げによる情報発信等を行っています。





### ■背景・目的は？

4年前から自前自立を決意し、大小道具作りや義太夫などできることを手作りし自己研鑽にも励んで来ました。今回のプロジェクトで、念願であった本物歌舞伎衣装(白浪五人男)を揃えることができたこと、広くPRするためホームページを立ち上げたことで将来に灯がともりました。男中心の地歌舞伎から老若男女、誰もが気軽に楽しめる地歌舞伎に変貌させる展望が開けたといつてよいです。

### ■具体的な活動は？

#### ▼一つ目の柱「白浪五人男」の本番用歌舞伎衣装の調達

- 2020年11月29日  
正式に美濃歌舞伎「相生座」に白浪五人衣装の見積もり依頼。
- 2020年12月7～8日  
岐阜県瑞浪市の「相生座」を訪問。衣装製作の契約を交わしました。
- 2021年3月17日  
雪国ロータリークラブ例会で助成金によるプロジェクトを紹介。
- 2021年10月6日  
東北電力新潟支店・魚沼電力センター4名の方と衣装披露の打合せ。
- 2021年10月10日  
岐阜県瑞浪市の「相生座」より念願の白浪五人男本番衣装が届きました。
- 2021年10月15日  
保存会例会にて会員に初披露。早速試着してfacebookに投稿。
- 2021年10月23日  
石打小学校文化祭ふれあい教室にて、子ども達に衣装を着せました。
- 2021年10月25日  
南魚沼市長を表敬訪問して新調した衣装を、市長と魚沼電力センターのお二人に試着してもらいました。その様子をfacebookに投稿。
- 2021年11月5日・12日・24日・26日の合計7時限  
石打小学校3年生の総合学習「地域の宝を探そう」で白浪五人男のワークショップ。最終日は本番衣装を着けて家族や下級生に成果発表。その様子も塩沢歌舞伎facebookに投稿。

#### ▼二つ目の柱 塩沢歌舞伎保存会のホームページ立ち上げ

東京武蔵野市の今井氏にホームページ作成を依頼。2021年9月5日と10月3日の2回、塩沢に来てもらい資料提供と構成検討会。12月5日、東京とオンラインで最終編集を行いホームページ立ち上げ完了。



着物を着て動く勉強



地元の歌舞伎を説明



傘・下駄を身につけて稽古



動きとセリフを覚える

## ■活動の成果は？

念願であった「白浪五人男」の衣装・禪・帯が揃ったことの効果は以下のとおり大きいです。

1. 少ない予算での「白浪五人男」上演が可能となり、保存会員以外にも地域住民が気軽に歌舞伎に挑戦できるようになりました。
2. 小中学校の文化祭や総合学習・社会科授業での要請に応えやすくなり、本番衣装を着けた感動を耳にするようになりました。
3. 他地域からも「白浪五人男」の指導および衣装借用の依頼が来るようになりました。
4. 老人施設や各地の行事に気軽にボランティア公演できる道ができました。

ホームページを立ち上げた事による効果

1. 塩沢歌舞伎の存在が、しっかりしたものとして広く認知されるようになりました。
2. しおざわ雪譜まつり歌舞伎公演情報がより確実に広く行き渡る道ができました。
3. 塩沢歌舞伎の活動内容がより立体的に伝えられるようになりました。

今回の助成金は、自立・自前で誰にも楽しめる地歌舞伎の道を歩み始めて間もない塩沢歌舞伎保存会にとっては、天のお導きと思える程の時期・内容ともに的を射たものでした。これによって塩沢歌舞伎保存会への評価も高まり、新調した歌舞伎衣装を使った小学生対象の歌舞伎体験授業は、学校の先生方はもちろんのこと、子ども達の保護者へ理解と協力意識を高めさせてくれました。

さらに、一昨年実施した地元の名士歌舞伎「白浪五人男」が好評だったこともあって、今度は「子ども白浪」や「女白浪」「親子白浪」「職場白浪」などで毎年やったらどうかという声も上がり、気軽にそれができる環境が生まれつつあると思います。

またホームページの立ち上げは、塩沢歌舞伎保存会の公式ページとしてより信頼できる大事な情報を提供できる場ができたこととなります。来年2月19日に2年ぶりに行われる第38回しおざわ雪譜まつり歌舞伎公演では、コロナ対策や申し込み方法などの大事な情報の発信母体として積極的に利用したいと思います。

2020年11月26日、東北電力(株)新潟支店において贈呈式が開催され、新潟日报社、日本経済新聞社、雪国新聞(地元紙)などで掲載されました。

また、南魚沼市秘書広報課より、市のホームページでも紹介していただいたことにより、2021年3月に地元ロータリークラブから講師依頼を受け、塩沢歌舞伎をPRできたとともに、人との繋がりができました。

さらには、2022年3月に中浦歌舞伎の復活を目指す三条市から上演依頼がきている状況です。



ワークショップは真剣そのもの



家族や下級生に成果発表



本物の衣装を着て



息もぴったり

## 団体からのコメント

自前自立を目指す保存会としては、初めて手にした貴重な歌舞伎衣装、これを利用して市内イベント参加や老人施設などへのボランティア活動にも取組んでいきたいです。また、できるだけ早めに本物の鬘や刀などの小道具も揃えられるように、助成金探しも含め市や関係個所などへ要望していきたいです。

時代の流れや環境の変化・高齢化等により、会員の確保がなかなか厳しいのが現状。将来に向けて子ども歌舞伎の育成を中心に多くの種まきをしてきましたが、まだそれが実となり花となるには時間がかかりそう。自前手作りの道によって、少ない財政でも公演活動ができる可能性を高め、誰でもできる親しみやすい歌舞伎の実践等により、興味持つ人・協力してくれる人を増やし、会員増に繋がりたいです。

今後は、毎年2月に開催される「しおざわ雪譜まつり」での歌舞伎公演実施を軸に、来年統合する新石打小学校の総合学習や社会科・文化祭等での歌舞伎教室への協力や、老人施設や各種団体へのボランティアミニ公演などを通じて、地歌舞伎の楽しさ・面白さ、伝統文化の持つ意義等を広く知ってもらい、雪国の地歌舞伎文化の継承と新しい時代に合った新たな活動の仕組みも作り上げていきます。

